

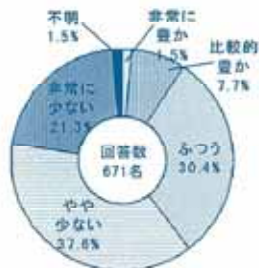
～アンケート結果の一部をご報告します～

お住まいや周辺環境の評価

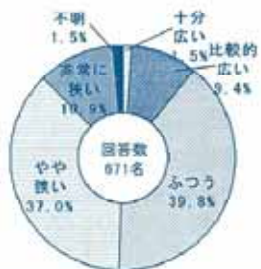


◆お住まいの耐震性・延焼危険性  
「やや不安」「非常に不安」をあわせると約 49%と半数近くあり、反対に「非常に安全」、「比較的安心」と感じている方はあわせて約 21%となっています。

◆身の回りの道路幅員  
「ふつう」が最も多く約 40%を占めますが、一方で「やや狭い」が 37%、「非常に狭い」が 11%と、半数近くの方が道路幅員が狭いと感じています。

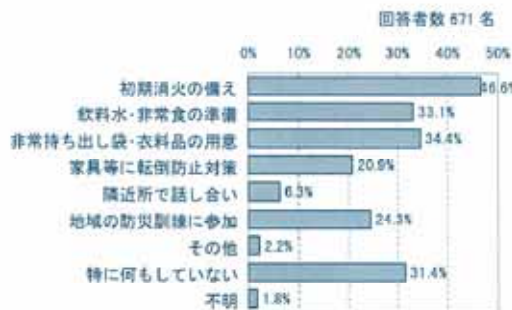


◆みどりの豊かさ  
「やや少ない」が最も多く約 38%を占めており、「非常に少ない」の回答とあわせると約 59%と半数以上の方が身近な緑が少ないと感じています。



防災意識

◆日常生活での防災の備え(複数回答)  
「初期消火の備えをしている」が約 47%と半数近くあり、次いで、「非常持ち出し袋・衣料品の用意」「飲料水・非常食の準備」が続いています。また、「特に何もしていない」と答えた方も 30%を超えています。



防災対策

◆防災性を高めるための対策(複数回答)  
「路上駐車・放置自転車など道路障害物をなくす」が約 52%と過半数を占め、次いで「消防車などが通行できるように道路の拡張」等、道路対策の意見が目立ちました。



防災まちづくりの参加意識

◆まちづくりへの参加意識  
「積極的に」、「時間があれば」、「内容により」をあわせ、約 77%の方が参加意欲を持っています。



◆参加したいまちづくり活動(複数回答)



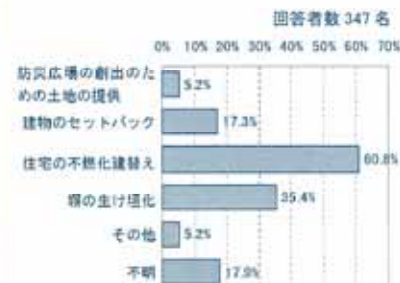
517名の参加意向者のうち、「講演会・勉強会への参加」「防災訓練への参加」が同程度に高くなっています。次いで、「防災マップの作成」や「まち歩きによるまちづくり診断」が高くなっています。

自由意見

ハード面については、道路環境についての意見が多く、特に路上駐車・放置自転車の問題、周辺道路幅員や袋小路の問題をあげている方が目立ちました。

ソフト面については、平常時から横の連携を大切にし、伝達方法・広報活動がもっとわかるように地域を取りまとめる組織づくりが必要ではないかといった意見が目立ちました。また、今後のまちづくりのことを考えると、若者による地域活性化が必要ではないかといった意見がありました。

◆防災まちづくりへの協力(複数回答)  
土地や建物を所有されている方は、「住宅の不燃化建替え」が約 61%、次いで、「塀の生け垣化」への協力が約 35%と、何らかの形で防災まちづくりへの協力を考えていることが伺えます。



郵便はがき  
144-8799  
料金受取人  
蒲田局承認  
53  
差出有効期間  
平成11年4月  
30日まで  
(切手不要)

蒲田郵便局 留  
大田区役所  
都市整備部 都市整備課 行